

あすへひとこと

若い人たちに語り継ぎたい。そして、次の世代に残してほしい貴重な話しをお届けします。
お年寄りたちの貴重な体験談(第二十二回)



私の少年時代の遊び

私の子ども時代は、大正という平和な時代でありながら、すべて戦争にちなんだ遊びが多かった。日清、日露の戦いで大勝した影響かもしれない。

昭和に入るとこれを軍国調と呼ぶが、小学校の教育からして、そんな風潮があった。子どもの遊びが一にも二にも勝負事で、子どもたちは今日一日をどんな風にして勝つか工夫したものであった。

パーという遊びがあった。これはメンコともいい、また、所によってはブツケと呼んだ。厚紙の表に乃木大将、東郷元帥などの軍人や歌舞伎役者、映画俳優などの似顔絵から、タンク、地雷、殺人光線などの兵器などが印刷されていて、これをそれぞれ地べたに置いて、

て、順番に相手のパーにぶつけて相手のパーを裏返しにすれば勝ちで自分のものになる。

ネツキ(ニツキともいい、語源はたしかでないが根本のなまったものかもしれない)という遊びがあった。木の枝を削ったものを、一人がまず土に差し、次の者がそれに当てる。倒せば勝ちというものである。冬の田んぼの風の当たらないわらばつちの陰などでやる格好の遊びであった。

竹馬に乗って片足でビヨンビヨンしながら片方の竹馬を使って相



パー(メンコ)に挑戦

手を倒す、または、体当たりで相手不倒すという遊び、いづれも取ったり取られたり、勝ったり負けたりという勝負の遊びであった。

軍国調が物騒な思想だなどと思われたのは戦後のことで、当時は当たり前の子どもの発想による遊びで兵隊ごっこなどという遊びがあった。直径三〜四センチ、長さ一〜一・五メートルくらいの真竹を三分の一ほどを割って、薄い方を上にして、上下に振るとカタカタと鳴る。これが鉄砲のつもり。

また、同じくらいの竹筒の中段を切り取って、そこに薄い竹片をくくりつけ、八番線くらいの針金をクランク状に曲げたものを取り付けて、そのクランクを回すと竹片がカタカタと勢よく鳴る。これが機関銃になる。

このほかに、男女の別なく遊んだものに縄跳びがあった。二人の子どもが離れて両側に立って縄を回して、それを次々に並んで跳んでいく、現在も同じ遊びがあるが、道具が今のものはビニール製で格好よくできているが、当時のものは荒縄が麻縄で当たると痛かった。



今の子どもたちも楽しんでいる縄跳び

また独特の童歌で回数を数えたものである。イチジク、ニンジン、サンショにシイタケ、ゴボウにムカゴ、七草、山いも、クワイにトウナス、と今の子どもたちは誰も知らない数え方だった。

鬼ごっこ、カゴメ、カゴメという遊びなど、子どもたちの屋外での集団の遊びは、今では遠い昔のものになってしまった。

高齢者の語り第二集
あすへひとこと(昭和六三年二月一日発行)より
「私の少年時代の遊び」
故・今井直一さん
(西ノ根宮内中島・二四区)

ひとりごと From editors

▼3月号が発行されるころ、私の天敵である花粉の季節がやってきます。花粉症との付き合いは15年ほどですが、年によって症状に違いがあります。今年は昨年以上に花粉が大量に飛散すると予測されているので嫌な予感…。▼今、PM2.5という物質が問題になっています。PM2.5は、大気中を漂う物質のうち直径2.5マイクロメートル(マイクロは100万分の1)以下の超微粒子のことで、工場の排ガスなどに含まれるのが主成分。吸い込むと肺の奥や血管に入り、ぜんそくや心疾患などのリスクを高めるとされています。ぜんそく気味の私にとっては重大な問題。近代化がもたらす豊かな経済力も大切ですが、人間が健康でいられることは本当に大切です。(藤田)



北の大地へ
(シンボルタワー
周辺を飛ぶ白鳥)



Photo 高根澤高明(記録ボランティア)

広報おうら

ORA TOWN Public Relations



平成25年3月号 No.558

毎月1日発行

編集・発行 邑楽町役場企画課

〒370-0692 (住所記入不要)

☎ 0276-88-5511 (代表)

☎ 0276-47-5007 (企画課直通)

☎ 0276-89-0136

URL <http://www.town.ora.gunma.jp>

E-mail koho@town.ora.gunma.jp

邑楽町携帯サイト

2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。

携帯用URL <http://www.town.ora.gunma.jp/k>

